

睦月愛南文芸

城辺俳句会

石仏いしぼつまします処ところ石露いしつゆの花

湧わき水を口くちにふくめば秋あき滲しみみる

秋あきの雨あめ石いし仏ぼつ洗せんい音ねもなし

抜き出いでし石露いしつゆ一輪いちりんの明あかりかな

石地蔵いしじざう慈愛じあいの顔かほに舞まふ木の葉は

この家いへの実みある処ところ世よ竜りゆう胆たん咲さく

城辺川柳会

「祝いわう」

初孫はつそんの祝いわい可愛かわいさ抱かかきしめる

近所きんじよにも嬉うれしさ配ある内祝うちいわい

祝いわい酒下しよげ戸こも一口いっくち進すすめられ

山田 静恵

宮田志賀子

大浜 紀子

加納 幸子

北原 桃代

大和田いそ子

年を取り祝いわう事ことなど何なにもない

初節句はつせつぐ祝いわうのぼりの鯉こいおよぐ

祝いわい餅もち背せ負おつて転ころび運はり担かぐ

「花はなの老女らうにょになれ」と家族かぞへに祝いわわれる

正月しょうげつをひとりひとりで祝いわう酒しよ二合にがっ

新しくの葉短歌会

雨あめ上あがりに何い時つも聞きこえる山やまばとの声こゑかすかなり宿替やどがえせしか

秋晴あきはれの一日ひとひをほしいままにして庭にわいっばいに布ぬ団だん干がしたり

足先あしの空そら気きさわつと動うかして若わき看護師かんごし小走こりに行く

去年こぞ逝しきし妹いの顔かほ浮うかび来る毎年まいねん柿かきをよろこんでいたね

札幌さっぽろは積雪せきせつありとわが息いき子こ四国しよこくの夏なつ日を分わけてやりたし

夫おとこの遺のこせるプランターらんたーの土堀つちほり起おこし春はる咲さく花はなの球根きうこんを植うえ

律子

玉子

富士子

百代

拈

長田ハル子

宮下喜久子

河上 明美

藤森多摩子

西崎 文恵

前田 充

はじめまして。赤ちゃん。

11月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

11月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。